



紹介者

辻 庸介

マネーフォワード
取締役社長 CEO

吉田 浩一郎

クラウドワークス
取締役社長 兼 CEO



大企業の副業、ビッグバンの時代

トヨタ自動車・本田技研工業・日産自動車・日本航空・全日本空輸・任天堂・ソニー・パナソニック・富士通・日立製作所・キヤノン・コニカミノルタ・富士フイルムホールディングス・ヤマハ・ブリヂストン・旭化成・サントリー・味の素・花王・森永乳業等々…。

いずれも日本が誇る大企業だと思えますが、この社名は何だと思うでしょうか？このリストは、当社の副業マッチングサービスに登録している正社員の方々が所属する企業名です。

2017年末に日本政府として副業容認をアナウンスした当初は、副業といってもエンジニアやデザイナーなどのITを中心とした専門的な技術職の方々が多くマッチングしていましたが、コロナ禍も長引いてきた2021年の中ごろからは、職種の幅が一気に広がり、営業やマーケティング、ブランディング・広報、経営企画などの攻めの人材から、経理・財務、人事・採用、法務などの経営管理人材まで幅広く登録いただきマッチングが進んでいます。

また、直近では、COO・CFO、戦略コンサルタント、M&Aなどの経営人材の登録も進んでおり、ベンチャーやスタートアップの不足している経営資源を副業・兼業でマッチングして解決する例も複数でてきています。

副業をされている大企業の正社員の方にインタビューしてみると、「現在の大企業で働いたままで、自分の可能性を広げる新しいチャレンジができる」「新しい会社と出会える」「リスキリングにつながる」「自分の能力が誰かの役に立つという実感が持てるのは本当にうれしい」ということで、皆さま希望に満ちあふれています。

このように大企業の副業がビッグバンの時代を迎えています。社外取締役には「大人のインターンシップが始まったね」と言っていただきました。コロナ、ロシア情勢、円安、株安という不確実性が高まる時代の中で、日本再生の鍵は大企業の人材が活性化することであり、その策の一つとして、「大人のインターンシップ」である副業・兼業のマッチングが貢献できるのではないかと私は考えています。

▶▶ 次回リレートーク

須田 将啓

エニグモ
取締役 最高経営責任者